

觀世流改訂儒本

別二

寶居
碩潛
身延
枕簟童
飛雲

觀世清之
長之世

明治四十三年七月十日印刷
明治四十三年七月十五日發行

訂正者、檢印
ナキモノハ偽版也

東京市麹町區中六番町二十九番地

訂正兼
發行

丸

岡

桂

東京市下谷區二長町壹番地

印刷者

塚原錦三郎

東京市下谷區二長町壹番地

印刷所

凸版印刷株式會社

東京市麹町區中六番町廿九番地

發行所

觀古流改訂本刊行會

電話番町二五四番



四番目
畧脇能

宝^{ムロ}居^{ギミ}

十二月

狂ワツシ
言キレ

下神室明
人職君神
識ナシ

甲子

これい播州宝の羽神は申も神
職の者なり。さても天下泰平のな
りあり。宝居^{スミ}なるや。急
もや。もとて神前より。神事
の。今。此時。も。めでたき。代^キあり。急
も。神事。を。執り。行。せ。や。と。なり。い。

いゝな作^ラある

神^{カミ}前^{マエ}なる

心^{ココロ}を

室^{ムロ}居^イなちよ神^{カミ}前^{マエ}はまありあれと申^{イハス}入^イ

狂^{キヤウ}云^{クニ}

上^{ウエ}女^メ

畏^{オソレ}つてゐる室^{ムロ}の海^{ウミ}室^{ムロ}の海^{ウミ}波^{ナミ}ものど

下^{シタ}リ

けも春^{ハル}の夜^ヨの月^{ツキ}のふふね梅^{ウメ}さ

て霞^{カスミ}む室^{ムロ}いおもゝろお霞^{カスミ}む室^{ムロ}さ

おもゝろ梅^{ウメ}の香^カの梅^{ウメ}の香^カれ殊^ニ

山^{ヤマ}崎^{サキ}くはなを夜^ヨいぢでふもふひく

たぞ綱手ありけるはたぞ綱ぶあ
りける

たぞ綱手ありけるはたぞ綱ぶあ
りける

ての又表く校をきさうの宿よ校の

教をほほひひく校の教うたよ

浮世の一番や浮世の一番や

夕波子鳥聲そへて友呼びをさす

あま少女恨みぞまさる室若の行

イ
フ
ト
ニ
サ
コ
フ
ニ
サ
ニ
ト
ニ
サ
ニ
サ
ニ
甲

く
み
や
暮
ら
ん
朝
妻
み
と
や
え
も

そ
れ
い
迄
江
の
み
あ
れ
や
あ
れ
も
尋

ね
尋
ね
て
あ
も
も
人
は
迄
江
の
み
え

山
も
隔
た
る
や
あ
ぢ
も
あ
や
浮
舟
の
枝

の
歌
を
傳
へ
ん
水
新
枝
の
歌
う
た
も
ん

な
ら
縫
え
ぬ
ま
ぬ
ま
ー
人
も
あ
ま
い
も
れ

と
竹
山
昨
の
布
晒
ま
ら
ん
佐
保
の
山
風

● 仕舞

名中イ

のどちとて。日影も匂ふ。天地の向け
しもさうむらも梅のーたりあると
る。然れども春返ぎも夏なけて秋
まぐは暮れゆく。晴雨の雲れ重り
て。額白妙はなり。積る。越。踏の雪れ
深さとも。知らわー。れ。棹立て。豊
平の行く末は。あちも梅の歌り

なひていざや持したる。 持しる事なり。

のゝめでなまゝなり。 ミカグそとは神。

樂とまゝせられし。 上たつたてし。

神樂とまゝせられし。 上たつたてし。

とて。 上宮の陰の神垣の 地損茂の。

宮居の。 神樂ありがたや。 上影の。 上月影。

の。 上更け行へ。 上あは風とあはれ。 上ふ。

もぎや異青黄トつねの事跡
章授希まへの姿を現おそ
まま^{ヨウクル}まのめんざ^{オウ}羅綾け袂
玉のめんざ羅綾の袂風はなまびく
瑞雲よま^ヤ所^ヤの室の海もれや^ヤい
そくて^ヤお^ヤ言^ヤ提^ヤの^ヤ様^ヤを^ヤま^ヤめ^ヤ海^ヤい
下^ヤり^ヤそ^ヤ下^ヤ代^ヤ衆^ヤ生^ヤけ^ヤ相^ヤを^ヤ現^ヤ五^ヤ濁^ヤ

の水。實相無漏の大海とあつて。花
より異香薫る。つ。相は真。肝は
銘。風渡袖を露にせ。を。や。羽。け
行く。春の。使。れ。を。や。羽。け。た。の。雲
は。幸。う。て。も。唐。は。空。は。あ。ぢ。ら。せ。な。ま。い
けり？

四番目

硯 潜 イカリ カヅキ

八月 ワツシ
ワツキ レテ
旅僧 二平知威前舟人

早流弟

ヨウク

白

雲やしもべのよそよ見とて雲やしもべ
のよそよ見とてほのやへを尋ねん

これ都方より出でたる僧とていふさ

ても平家ヘイケの二門ニカドは長門の海とて果て

なひて我等も平家のゆかり者

とていふ程よ。二門ニカドの所跡オシトトを名ひし中えん

と思ひ。な。今。長門の國へと去る。

あり。え。より。も。浮。世。の。旅。は。又。出。で。浮。世。の。

旅。は。ま。た。い。づ。宿。定。め。あ。く。捨。つ。る。身。

の。行。く。ま。あ。れ。を。そ。こ。ろ。も。波。は。落。

ち。る。塩。に。早。靴。の。浦。は。着。き。な。け。

り。早。靴。の。浦。は。つ。ま。な。ひ。り。急。ぎ。

の。程。は。早。靴。の。浦。は。着。き。な。け。暫。

と臥て怒るも處也。船賃あくて
後らんと無着心ある僧なちあな
早から
外ものずを問へもわらあ。無縁の
僧は船賃をもらへともあまふ人
そ無着心ならふべけれ。けふ
これ法理^{コトワリ}さて又頭^ビは懸^カけ給ふ。
いあつたあつたらん 早^早これ

系妙興あり。ち法入ありが法涌せ

んミエさそてい嬉シテカレや法僧の法涌と我

等が船賃のて早今法船は法の

道いさ聴聞せん法華キヨクのモシ目

の関の戸ありせやカガリ毒火早妙法蓮

華經藥王ボ菩薩サツ品ホン如子得母如ニヨ

渡得ド船フナとシテトい海りミヅは母を得たり

事あらなむ。この法（法）は、
 くきれいへんくきれいへん
 いふや願ひもみづの船（船）は、
 こゝの船（船）は、
 もらさうれむ。この船（船）は、
 の縁（縁）あり。おなや他生の縁（縁）あり。が
 な。